

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス
コミュニケーション活動Ⅱ			講義・演習		インテリア・空間デザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	50	1	宮沢 千夏子
授業の目的・目標					
様々な活動を通して学科単位、クラス単位、学校単位でのコミュニケーションを図る。					
授業の概要					
主に学校行事、学科活動を行う活動授業とする。デザインを学ぶ学生の基本姿勢として、自分の足で情報を収集し、得た情報を分析し自分自身のアイデアに反映する等のデザイン訓練を行う。静岡県内に限らず、各地で開催される展示会やイベントを視察する。					
成績評価の方法					
1、平常点（主体的な授業参加度・出席率） 2、学習意欲（授業の取り組む姿勢）				平常点	50%
				課 題	50%
使用テキスト・教材					
必要に応じてテキストやパンフレットを配布					
授業内容・授業計画					
	時間数			時間数	
1. 始業式	2	16. 学科活動		2	
2. 終業式	2	17. 学科活動		2	
3. 球技大会	2	18. 卒業制作展視察		2	
4. 他、学校行事	2	19. 卒業制作展視察		2	
5. 東京研修	2	20. 卒業制作展視察		2	
6. 東京研修	2	21. 卒業制作展視察		2	
7. 東京研修	2	22. 卒業制作展視察		2	
8. 東京研修	2	23. 卒業制作展視察		2	
9. 東京研修	2	24. 卒業制作展視察		2	
10. 東京研修	2	25. 卒業制作展視察		2	
11. 東京研修	2	26. VMD作業		2	
12. 東京研修	2	27. VMD作業		2	
13. 学科活動	2	28. VMD作業		2	
14. 学科活動	2	29. VMD作業		2	
15. 学科活動	2	30. VMD作業		2	
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
建築設計製図Ⅱ			(講義)・(演習)		インテリア・空間デザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	2	澤本幸伸
授業の目的・目標					
基礎製図（RC造2階建住宅）の応用と表現を身につける。 ニングが出来るスキルを身につける。					プランニ
授業の概要					
住宅設計図（RC造2階建住宅）の表現、基礎製図の習得。 た敷地から住宅（木造2階建）のプランニングの習得。					与えられ
成績評価の方法					
課題内容提出、課題に取り組む姿勢の総合評価。				平常点	50%
				課 題	50%
使用テキスト・教材					
配布プリント、教材「建築製図 基本の基本」					
授業内容・授業計画					
1. RC造2階建て(住宅)の設計図の解説。					時間数 3
2. RC造2階建て(住宅)の1階、2階平面図の作図。課題提出					8
3. RC造2階建て(住宅)の立面図の作図。課題提出					5
4. RC造2階建て(住宅)の断面図の作図。課題提出					4
5. RC造2階建て(住宅)の矩計図の作図。課題提出					10
6. 設計課題(問題文)を読み取り設計条件や法規、構造を理解する。					8
7. 木造2階建て(店舗付き住宅)のゾーニング、プランニングの解説。					2
8. 木造2階建て(店舗付き住宅)のゾーニング、プランニング。(エスキス) 課題提出					20
					2
					2
					2
					2
					2
					2
					2
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度		2025年度	
				科目コード			
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
住環境デザインI			講義・演習		インテリア・空間デザイン科		
履修学年	履修学期	必修・ 選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	必修	60	2	小杉 陽子		
授業の目的・ 目標							
自分自身で考え計画した建物を、正確に図面に書き起こしていきながら、基本的な技術知識を身につける。来年度の卒業設計の練習として、与えられた課題をよく読み込み、自分なりの考えをプラスした設計ができることを目指す。							
授業の概要							
・プランニングの基礎と製図等を実践的に学ぶ。 ・期限内に課題を完成させて、提出期限を守る。 自分の設計したもので模型を作することを前提に、正確に図面を書くの重要性を知り、今後の学習に活かしていく。							
成績評価の方法							
1. 出席状況 授業態度(意欲的か、課題完成までのスケジュールリングができているか) 3. 課題の完成度(アイデア・想像力、コンセプト・着目点、製図の出来栄)の上、課題を締切厳守で提出した上で総合的に評価する。課題未提出は成績評価は行わない。					2.	作品評価	70%
						授業態度	20%
						出席状況	10%
使用テキスト・ 教材							
建設予定地の敷地図、各種条件を2級建築士製図試験の問題形式にて出題。それをもとに、指定された図面(平面図、立面図、断面図)を作図し、データにて提出。							
授業内容・ 授業計画							
1～8 出題された条件にあったコンセプトを設定を基に、指定された敷地内への平面計画を始める。この際、テーマ、コンセプト、周辺の環境を考えながら、頭に閃いたことをメモし、いくつかアイデアを出しながら、スケッチをする。			時間数 8	37 完成した平面図を基に、全体の高さ～46 関係を確認しながら、断面図1面～2面を作図する。		時間数 12	
9～20 コンセプトを基に、スケッチを作製しながら、具体的に進められるプランに整理し、作図できるように内容を完成させる。			12	47 完成した平面図、断面図を基に、～56 立面図4面を作図する。		12	
25～36 スケッチを基に、まず平面図を作図する。(外構計画も計画する)			12	57 作図した図面の整合性を最終確認～60 する。		4	
その他			関連科目				
※单元ごと演習課題を実施する。 ※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
建築設備			講義・演習		インテリア・空間デザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	泊 真吾
授業の目的・目標					
○ 建築設備の用語、各設備の方式の概要、特徴を理解する。 ○ 設備計画の法令等を理解する。 ○ 建築全体の省エネルギー対策で、設備で必要とされることを理解する。					
授業の概要					
○ 建築物の設備内容が理解で出来る。 ○ 現場に於いて他の計画に対して速やかに判断出来る知識、能力を身に付ける。 ○ 建築物、環境に対しての省エネ、環境問題に対して対応できる。					
成績評価の方法					
○ 平常評価と筆記試験より評価。				平 常 点	40%
				筆記試験	60%
使用テキスト・教材					
主なテキストは世界で一番やさしい建築設備本を使用。					
授業内容・授業計画					
					時間数
1. 設備とは、設備の種類、必要性					2
2. 給水の仕組み、種類と特徴					2
3. 給湯方式の仕組み、特徴、熱源					2
4. 排水管、トラップ、浄化槽					2
5. 冷暖房方式、省エネルギー					2
6. 換気設備、方式、必要性、種類					2
7. 住宅の電気設備、他との違い					2
8. 弱電設備、EV					2
9. 省エネ設備、自然エネルギーの利用設備					2
10. 建築設備座学総括					2
11. 給排水設備図を読む、書く					2
12. 電気設備図を読む、書く					2
13. 試験対策					2
14. 筆記試験					2
15. 筆記試験結果から補足授業					2
その他			関連科目		

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
構造基礎			講義・演習		インテリア・空間デザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	伊達 剛
授業の目的・目標					
建物にかかる力を把握し、それらの力に対する建物の安全を確認できる知識を身につける。					
授業の概要					
構造力学に必要な算術計算から、力の基礎、力の釣り合い、反力について学ぶ。 また部材に生じる力を理解し、住宅や家具の設計における「構造的な考え方」を学ぶ。					
成績評価の方法					
1. 課題（提出率と提出された課題の完成度） 2. 平常点（主体的な授業参加度） 3. 学習意欲（学習意欲の有無、授業に取り組む姿勢） これらを総合的に評価したうえで決定する。 ただし課題が未提出の場合、成績の評価は行われない。				課 題	40%
				平 常 点	40%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
「やさしい構造力学」浅野清昭著、学芸出版 必要に応じてプリント配布					
授業内容・授業計画					
1. 分数・平方根・文字を含んだ式・方程式・連立方程式・面積の計算					時間数 2
2. 数字と単位、力とベクトル					2
3. 力のモーメント					2
4. 合力・分布荷重					2
5. 力の釣り合いとは					2
6. 回転をともなう力の釣り合い					2
7. 構造物の支え方・単純梁の反力					2
8. 片持ち梁の反力・張り出し梁の反力・ラーメンの反力					2
9. 単純梁に生じる力・片持ち梁に生じる力					2
10. 実例を通した「構造的な考え方」 建築モデル、家具等					2
11. 「構造的な考え方」 実例の調査①					2
12. 「構造的な考え方」 実例の調査②					2
13. 「構造的な考え方」 実例の発表①					2
14. 「構造的な考え方」 実例の発表②					2
15. 構造の形状とバランス(まとめ)					2
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授業科目名			授業形態		学科・コース
建築一般構造Ⅱ			講義・演習		インテリア・空間デザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通期	必修	30	1	清水 利至
授業の目的・目標					
インテリアデザイン業界の認知を深め、インテリアデザインに繋がる建築物本体の構造についての知識を得ながら、デザインと建物の安全性について理解する。各構造形式の特性を知ること、建築計画の中でどのような構造を採用すべきか、それをどのようなデザインで実現するのかを考えることができるようになる。					
授業の概要					
建築構造の基本と鉄骨構造、鉄筋コンクリート構造について理解する。鉄骨構造の材料である鋼材、鉄筋コンクリート構造の材料であるコンクリートについての知識、それぞれの構造の各部の構成部材や接合部の仕組みを知り、それらの名称を覚える。また、改修工事に必要な構造の知識について学ぶ。最終授業で学習した内容に関する筆記テストを行う。					
成績評価の方法					
1、学習意欲（学習意欲の有無、授業の取り組む姿勢） 筆記テスト（学習内容の理解度）				2、	学習意欲 20% テスト 80%
使用テキスト・教材					
「図説 やさしい建築一般構造」 今村 仁美、田中 美都					
授業内容・授業計画					
1. 鉄骨構造の特徴					時間数 2
2. 鋼材について					2
3. 鉄骨構造の接合部					2
4. 鉄骨構造の部材の設計					2
5. 鉄骨構造の現場解説					2
6. 鉄筋コンクリート構造の特徴					2
7. コンクリート、鉄筋について					2
8. 鉄筋コンクリート構造の接合部					2
9. 鉄筋コンクリート構造の部材の設計					2
10. 鉄筋コンクリート構造の現場解説					2
11. その他の構造					2
12. 各部の下地と仕上げ					2
13. 改修工事と構造					2
14. 補強計画					2
15. 期末テスト					2
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授業科目名			授業形態		学科・コース
建築法規			講義・演習		インテリア・空間デザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	中野 年浩
授業の目的・目標					
建築行為を行うために遵守しなければならない法令があることを習得します。法令の詳細な内容や具体的な数値等を覚えることを目的とするものではなく、どのような事に注意する必要があるのかということ学習していきます。					
授業の概要					
・ 建築に関する法令等。 ・ 新築に限らず、増築・改修や用途変更時などにおいても遵守しなければならない法令項目。					
成績評価の方法					
授業内で実施する課題及び演習等を通しての理解度を合わせて最終考查で総合的に判断します。				演習課題・考 査 平常点	85% 15%
使用テキスト・教材					
建築基準法関係法令集 図説やさしい建築法規／学芸出版社					
授業内容・授業計画					
1. 建築関連法令 目的・体系（概要）					時間数 2
2. 建築基準法 申請・特殊建築物					2
3. 都市計画法 道路・用途地域					2
4. ※実例解説1					2
5. 建築基準法 容積率・建ぺい率					2
6. ※演習					2
7. 建築基準法 内装制限					2
8. 同 上 防火構造等					2
9. 同 上 階段・避難					2
10. 同 上 排煙・非常用照明					2
11. ※実例解説2					2
12. 建築基準法 居室の採光・換気					2
13. ※演習					2
14. その他関連法令					2
15. 修了考查					2
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
インテリアコーディネートⅡ			講義・演習		インテリア・空間デザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	60	2	岩崎 京子
授業の目的・目標					
インテリアコーディネーター資格取得。インテリアに関する幅広い商品知識を身につけ、住宅、建築・インテリアエレメント等さまざまなフィールドで活躍できる知識の習得。					
授業の概要					
インテリアコーディネーター資格取得に向け、試験対策と共に、インテリアデザイン・建築の基礎知識を身につける。					
成績評価の方法					
模擬テスト、過去問題テスト					平常点 20%
					期末テスト 80%
使用テキスト・教材					
インテリアコーディネーター1次試験合格教本上巻・下巻					
授業内容・授業計画					
	時間数		時間数		時間数
1. ウインドウトリートメントの種類	2	16. 内壁の構造、床と床の間	2		
2. カーテンの採寸、ローマンシェード	2	17. 熱と湿気、結露	2		
3. カーペットカーペットの役割と性能、種類	2	18. 換気と通風	2		
4. カーペットに使われる繊維、施工	2	19. 音環境	2		
5. 品質表示と防災規制	2	20. 光環境	2		
6. 内部建具、種類と構造、材料	2	21. 模擬試験	2		
7. 外部建具、種類と構造、材料	2	22. 模擬試験	2		
8. 建具金物	2	23. 過去問題、演習問題	2		
9. インテリア建材と住宅設備機器メーカー	2	24. 過去問題、演習問題	2		
10. 床仕上げ材の種類	2	25. 過去問題、演習問題	2		
11. 壁仕上げ材の種類	2	26. 過去問題、演習問題	2		
12. 天井仕上げ材の種類	2	27. 過去問題、演習問題	2		
13. インテリアの構成、床の構法	2	28. 過去問題、演習問題	2		
14. 壁の構法	2	29. 過去問題、演習問題	2		
15. 天井の構法	2	30. 過去問題、演習問題	2		
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。			材料知識、照明デザインⅠ、材料知識Ⅱ、建築法規		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			一般構造Ⅱ、建築設備		

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
パース技法Ⅱ			講義・演習		インテリア・空間デザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	1	宮沢 千夏子
授業の目的・目標					
①パース技法の習得と向上、空間把握がしっかりできるようになる。 ②クライアントに提案することを意識したパース作成ができる。 ③短時間でもパース作成ができる。					
授業の概要					
① 1 消点パース、2 消点パース、その他の透視図の描き方を習得していく。 ②授業時間内でパースを立ち上げ、着彩まで仕上げていくことを意識し、繰り返し行う。					
成績評価の方法					
1、課題（提出率と提出させた課題の完成度） 2、平常点（主体的な授業参加度） 3、学習意欲（学習意欲の有無、授業の取り組む姿勢）				課 題	50%
				平 常 点	30%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
必要に応じて授業プリントを配布 プロジェクトペーパー・クロッキー帳・色鉛筆・コピックマーカー・ コピックマルチライナー・30cm定規・三角スケール					
授業内容・授業計画					
1. 1 消点図法演習① 1年次の振り返り					時間数
2. 1 消点図法演習②					2
3. 1 消点図法演習③					2
4. 1 消点図法演習③					2
5. 2 消点図法演習①					2
6. 2 消点図法演習①					2
7. 2 消点図法演習②					2
8. 2 消点図法演習②					2
9. 2 消点図法演習③					2
10. その他の透視図①					2
11. その他の透視図②					2
12. 最終課題					2
13. 最終課題					2
14. 最終課題					2
15. 最終課題					2
その他			関連科目		
※単元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名		授 業 形 態		学 科 ・ コー ス	
デザインCAD II		講義・演習		インテリア・空間デザイン科	
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	60	1	小沼 勝也 岩崎 京子
授業の目的・目標					
JWCADで、2級建築士の範囲である木造住宅程度の製図ができる技術を習得する。後半はSkechUpを活用した3DCADでの表現手法を習得する。					
授業の概要					
1年次に学習した手書き製図をCADで書く。 SkechUpの基本的な操作方法、3Dでの空間パース作成。					
成績評価の方法					
課題（図面）の提出とその評価				学習意欲	40%
				作品査定	60%
使用テキスト・教材					
JW_CAD、SkechUp					
授業内容・授業計画					
	時間数			時間数	
1. 平面図（1階）	2	16	SkechUpの基本操作(線・長方形・円)	2	
2. 平面図（1階）	2	17	SkechUpの基本操作(三次元作成ツール)	2	
3. 平面図（1階）	2	18	SkechUpの基本操作(三次元作成ツール)	2	
4. 平面図（1階）	2	19	SkechUpの編集ツール(移動・回)	2	
5. 平面図（2階）	2	20	SkechUpの編集ツール、作図	2	
6. 平面図（2階）	2	21	SkechUpの編集ツール、作図	2	
7. 屋根伏せ図	2	22	SkechUpの編集ツール(テキストチャ)	2	
8. 屋根伏せ図	2	23	SkechUpの編集ツール、作図	2	
9. 立面図	2	24	SkechUpの編集ツール、作図	2	
10. 立面図	2	25	外観パース作成	2	
11. 立面図	2	26	外観パース作成	2	
12. 立面図	2	27	内観パース作成	2	
13. 断面図	2	28	内観パース作成	2	
14. 断面図	2	29	ツインモーシオンとの連携	2	
15. 断面図	2	30	ツインモーシオンとの連携	2	
その他			関連科目		
※演習課題を複数コマにて実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度		2025年度	
				科目コード			
授 業 科 目 名			授業形態		学科・ コース		
プランニング技法			講義・ 演習		インテリア・空間デザイン科		
履修学年	履修学期	必修・ 選択	時間数	単位数	担当教員		
2	通年	必修	30	1	宮沢 千夏子 中村 真理		
授業の目的・ 目標							
①インテリアコーディネーター2次試験問題対策に繋げ、条件を読み解きプランニングできるスキルを身に付ける。 ②美しく見やすい正確なインテリア図面が描くスキルを習得する。 ③インテリアコーディネーターの仕事を理解し、住宅やマンションなどに携わる職業(営業・設計・IC)に必要な知識を習得すると同時に、インテリアコーディネーター試験(学科・製図)の合格に近づく事もできる。							
授業の概要							
インテリアデザインにおける基本的な間取りの構成やルールを理解し、素早く綺麗に図面に表現する手法を学ぶ。 インテリアコーディネーターの仕事を理解し、それに必要な知識を習得する。							
成績評価の方法							
①課題(提出率、講義の内容を踏まえ、プランニングができているか) ②平常点 (主体的な授業参加度) ③学習意欲 (学習意欲の有無、授業の取り組む姿勢)					課題	50%	
①授業態度 ②課題					平常点	30%	
③ロープレ					学習意欲	20%	
使用テキスト・ 教材							
必要に応じてプリント配布。クロス・カーテンなどのカタログ。							
授業内容・ 授業計画							
			時間数			時間数	
1. インテリアコーディネーター試験の概要			2	ロープレシュミレーション		1	
2. 平面基礎演習①			2	13 内装・設備提案ロープレ③		1	
3. 平面基礎演習②・問題実践			2	アクセントクロス・カーテン・家具プラン		1	
4. 展開図の演習			2	14 インテリア商材提案ロープレ④		2	
5. 家具図の演習、論文について			2	15 コーディネート事例紹介		1	
6. 二次試験過去問題演習①			2	インテリアコーディネーター試験対策		1	
7. 二次試験過去問題演習②			2				
8. インテリアコーディネーターの仕事			1				
ヒューマンスケール・家具寸法・空間スケール			1				
9 顧客情報の読み込み・家具レイアウト			1				
家具レイアウト提案ロープレ①			1				
10 空間イメージ・照明器具提案プラン			2				
11 電気記号・電気配線計画			1				
電気配線提案ロープレ②			1				
12 内装・設備カタログの読み込み			1				
その他			関連科目				
※单元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年 度		2025年度	
				科目コード			
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コー ス		
照明設計 I			講義・演習		インテリア・空間デザイン科		
履修学年	履修学期	必修・ 選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	30	1	ふじた ともこ		
授業の目的・ 目標							
照明器具の基礎を学び、生活の中で必要な光について考察しながら照明器具をデザインしていく。							
授業の概要							
照明器具の種類、機能性、照明器具の構造を学び、実際に照明器具を製作する。							
成績評価の方法							
課題製作の工程と仕上がり、そして出席状況、授業に臨む姿勢で評価。					課 題	50%	
					平 常 点	30%	
					学習意欲	20%	
使用テキスト・ 教材							
プリントを配布する							
授業内容・ 授業計画							
			時間数				時間数
1. 照明器具の種類と特徴			2				
2. ランプと光、制御方法について			2				
3. 光とは？			2				
4. 照明デザインの手法			2				
5. 課題 1			2				
6. 課題 1			2				
7. 照明研修			2				
8. 照明研修			2				
9. 照明手法			2				
10. 課題 2			2				
11. 課題 2			2				
12. 課題 2			2				
13. 課題 2			2				
14. 課題 2			2				
15. 講評			2				
その他				関連科目			
※単元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授業科目名			授業形態		学科・コース
インテリアモデル			講義・演習		インテリア・空間デザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	中野 年浩
授業の目的・目標					
インテリア(建築)模型の制作を通じて、制作技術そのものの向上を目指す。図面だけでは表現することができない部分を補完し、プレゼンテーションで生かす方法などを習得する。					
授業の概要					
他授業との連携により計画された図面（条件）を基に実際の建築模型の組立て方を検討し制作する。空間構成を把握すること、プレゼンツールとして有効活用することを学ぶ。					
成績評価の方法					
最終提出された成果物（模型）の出来栄を主として、制作過程を想定したシートを基に制作の意図や過程を総合的に判断して評価します。				課 題	85%
				平常点	15%
使用テキスト・教材					
適宜、プリント配布					
授業内容・授業計画					
1. 課題提示及び与条件等の説明、表現方法・模型素材の扱い方					時間数 1
2. 制作スケジュールの検討及びシート提出					1
3. 段ボールを使用した（仮）模型制作					4
4. 模型制作 インテリア・エクステリアを含む					22
5. 模型提出・発表 講評					2
その他			関連科目		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			インテリアデザイン		

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授業科目名			授業形態		学科・コース
インテリアデザイン			(講義)・(演習)		インテリア・空間デザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	2	岩崎 京子
授業の目的・目標					
住宅設計・デザインを考える上で、「誰のために・何のために・どうなるために」を考え、ライフスタイルから空間をデザインする思考を養う。空間デザインを行う全体のプロセスを体験する。					
授業の概要					
2年次修了課題のターゲット設定、コンセプト設定、事例の調査 内観パース作成、コンセプトボード作成					
成績評価の方法					
1、平常点（主体的な授業参加度） 2、学習意欲（授業の取り組む姿勢） 3、作品完成度				平常点	30%
				学習意欲	30%
				作品	40%
使用テキスト・教材					
配布プリント等					
授業内容・授業計画					
	時間数			時間数	
1. 現地見学、調査	2	16	内観パース作成	2	
2. 問題定義	2	17	プランニングボード作成	2	
3. ターゲット設定	2	18	プランニングボード作成	2	
4. 事例調査	2	19	プランニングボード作成	2	
5. コンセプト設定	2	20	プランニングボード作成	2	
6. ラフプラン作成	2	21	プランニングボード作成	2	
7. 内観パース作成	2	22	プランニングボード作成	2	
8. 内観パース作成	2	23	プランニングボード作成	2	
9. 内観パース作成	2	24	プランニングボード作成	2	
10. 内観パース作成	2	25	プランニングボード作成	2	
11. 内観パース作成	2	26	プランニングボード作成	2	
12. 内観パース作成	2	27	プランニングボード作成	2	
13. 内観パース作成	2	28	プランニングボード作成	2	
14. 内観パース作成	2	29	プランニングボード作成	2	
15. 内観パース作成	2	30	プランニングボード作成	2	
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
店舗デザイン概論			(講義)・(演習)		インテリア・空間デザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	30	1	長尾 隆行
授業の目的・目標					
実在するデパートの1コーナーを使って、実在するブランドの商品や、ブランドイメージを理解しながら、物販実店舗の設計をする。					
授業の概要					
実在する空間を把握する作業、ブランドイメージを汲み取る作業、手を動かす（作図、模型）感覚を学習する。					
成績評価の方法					
1. 課 題 提出課題の完成度、✓切厳守、テスト結果 2. 平常点 主体的な授業参加度 3. 学習意欲 課題に対しての取組む姿勢 これらを総合的に評価する。					課 題 50% 平 常 点 30% 学習意欲 20%
使用テキスト・教材					
適宜、プリント配布					
授業内容・授業計画					
1. 皆、私の自己紹介 2. 物販ブランドについて 3. 販売スペース下見 4. 販売スペースCAD入れ 5. 計画、ゾーニング 6. 製図 7. 模型製作 8. 発表 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15.	時間数				時間数
	4				
	2				
	2				
	4				
	4				
	4				
	16				
	4				
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
空間コーディネート実践			講義・演習		インテリア・空間デザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	繁田 和美
授業の目的・目標					
・店舗、売り場づくりの基本である【商品陳列】から【演出】についての一般的な知識と技術の習得。 ・ブランドコンセプトや商品特性に基づく演出や陳列を学び、VMDを活かした店舗設計や客導線を考えたゾーニングができる。					
授業の概要					
VMDは店のメッセージやブランド価値を伝え、お客様視点に基づく店づくり方法であり、店舗設計において、商品の展示陳列まで計画するVMDは欠かせない技術である。VMDの基礎知識を学び、実習を通してヴィジュアルプレゼンテーションのスキルを習得する。					
成績評価の方法					
課題（提出された課題の完成度）、平常点（主体的な授業参加度） 学習意欲（授業の理解度、学習意欲の有無、取組む姿勢） 総合的に評価するが、課題を未提出の場合は成績評価が行われない。				課 題	50%
				平常点	30%
				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
・資料等配布					
授業内容・授業計画					
		時間数			時間数
1. VMDの概要		2			
2. 商品分類、VMD分類、陳列技術		2			
3. 陳列技術（IP）の基礎、定数量		2			
4. 陳列技術の応用		2			
5. 演出技術（VP・PP）の基礎		2			
6. 演出技術の応用 VMDまとめ		2			
7. 店舗の見方、リサーチ方法		2			
8. 店舗リサーチ（フィールドワーク）		2			
9. ディスプレイプランニング／実習		2			
10. 計画①ブレスト、リサーチ		2			
11. 計画②図面作成		2			
12. シミュレーション①実寸で考える		2			
13. シミュレーション②ブラッシュアップ		2			
14. 準備 現場設営タイムスケジュール		2			
15. 講評&まとめ		2			
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。			コミュニケーション活動IIにおいて		
※実務経験のある教員が担当する科目である。			製作、現場設営を行う		

シラバス(授業概要)				年 度		2025年度	
				科目コード			
授 業 科 目 名			授業形態		学科・ コース		
エクステリアプランニング			講義・演習		インテリア・空間デザイン科		
履修学年	履修学期	必修・ 選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	30	2	鈴木健吾		
授業の目的・ 目標							
近年需要が増えてきているエクステリア業界へ就職先を考慮する際に、有利になるような基本的な知識を身につける。就職後の実務に対応できる。2級エクステリアプランナーの取得希望者にプラスになる。							
授業の概要							
エクステリアの基本知識。実際の業務に役に立つ知識も学習。							
成績評価の方法							
学習意欲50% 課題作品評価50%					平常点	100%	
					学習意欲	50%	
					課題評価	50%	
使用テキスト・ 教材							
世界で一番くらしい住宅用植栽・ 配布プリント							
授業内容・ 授業計画							
			時間数			時間数	
1. エクステリア概論 先行			2				
2.			2				
3. 土木・左官の知識 先行			2				
4.			2				
5. 樹木、造園の知識 先行			2				
6.			2				
7. ゾーニングの知識 先行			2				
8.			2				
9. 模型制作 状況に合わせて			2				
10.			2				
11.			2				
12.			2				
13.			2				
14.			2				
15.			2				
その他			関連科目				
※单元ごと演習課題を実施する。							
※実務経験のある教員が担当する科目である。							

シラバス(授業概要)				年 度		2025年度	
				科目コード			
授 業 科 目 名			授業形態		学科・ コース		
ポートフォリオ制作 I			講義・演習		インテリア・空間デザイン科		
履修学年	履修学期	必修・ 選択	時間数	単位数	担当教員		
2	後期	必修	30	2	本野 智美		
授業の目的・ 目標							
自分を伝える手段として就職活動の際に実践的に活用できるポートフォリオを制作し、希望職種への就職を目指す。							
授業の概要							
プレゼン力のある、それぞれの個性が伝わるポートフォリオの制作。							
成績評価の方法							
授業への理解度と最終提出物での評価					理解度	30%	
					課題提出	70%	
使用テキスト・ 教材							
オリジナル資料・その他必要に応じてプリント配布							
授業内容・ 授業計画							
			時間数			時間数	
1.	オリエンテーション～ポートフォリオとは		2				
2.	作品の情報収集～希望職種との整合性		2				
3.	ページ立て考察		4				
4.							
5.	作品をスキャン、撮影などデータ化		4				
6.							
7.							
8.							
9.	制作～随時チェック		24				
10.							
11.							
12.							
13.	最終チェック～ブラッシュアップ		4				
14.							
15.	クラス内講評会～第一次提出		4				
その他			関連科目				
※单元ごと演習課題を実施する。			デザインアプリケーションⅠⅡ				
※実務経験のある教員が担当する科目である。			ポートフォリオ制作Ⅱ				

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授 業 形 態		学 科 ・ コ ー ス
マーケティング I			(講義)・(演習)		インテリア・空間デザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	前期	必修	30	1	川松 夕見子
授業の目的・目標					
・ビジネスの基礎となるマーケティング知識を習得し、社会動向や消費者ニーズに対する感度を磨く。 ・ビジネスに不可欠な要素を理解し、それをベースとした発想力、構成力、表現力を身に付ける。					
授業の概要					
・ビジネスの裏付けとなるマーケティングの基本概念と、そこを出発点に具体的な企画を組み立てるプロセスを学ぶ。 ・産学連携プロジェクトの課題を理解し、物件情報や周辺環境、ターゲット顧客のニーズを調査/分析することで、クライアントに対して根拠と説得力のある企画プレゼンを行う。					
成績評価の方法					
・グループワーク取組姿勢（リーダーシップ、役割負担、積極性等） ・プレゼンテーション（企画発表の内容と表現）				課 題	40%
				平 常 点	30%
				学習意欲	30%
使用テキスト・教材					
・スライドデータまたはプリント配布					
授業内容・授業計画					
1. 講座概要、アイデア出しと整理					時間数 4
2. 現状分析と仮説づくり、マーケティングリサーチ計画					4
3. マーケティングリサーチ実施					4
4. リサーチ結果まとめ、ターゲット設定とニーズ分析					4
5. コンセプトワーク、具体案の検討					4
6. 企画プレゼン（中間チェック）					4
7. 最終プレゼンのシナリオ構成とスライド作成					4
8. 最終プレゼンのリハーサルとブラッシュアップ					2
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度		2025年度	
				科目コード			
授 業 科 目 名			授業形態		学科・ コース		
デザインアプリケーションⅡ			講義・ 演習		インテリア・空間デザイン科		
履修学年	履修学期	必修・ 選択	時間数	単位数	担当教員		
2	前期	必修	30	2	本野 智美		
授業の目的・ 目標							
PCを使用したグラフィックデザイン応用力の習得。 専門スキルとの連動として、店舗や住宅とエンドユーザーをつなぐ、コミュニケーションツール(メインビジュアル・ロゴタイプ・パンフレットなど)の制作や指示ができるようになる。							
授業の概要							
不動産系パンフレットの制作。周辺施設の情報収集と調査から、表紙ビジュアルなどを通じてデザインでコミュニケーションできる力をつけていく。							
成績評価の方法							
授業への理解度と最終提出物での評価					理解度	30%	
					課題提出	70%	
使用テキスト・ 教材							
オリジナル資料・その他必要に応じてプリント配布							
授業内容・ 授業計画							
			時間数				時間数
1. 課題オリエンテーション			2				
2. 周辺環境調査			2				
3. ターゲット設定～アイデア出し			4				
4.							
5. アイデアブラッシュアップ			4				
6.							
7. デザイン計画～ラフスケッチ			4				
8.							
9.							
10. 作品制作～随時チェック			8				
11.							
12.							
13. 最終チェック～完成へ向けて修正			4				
14.							
15. クラス内講評会～提出			2				
その他			関連科目				
※単元ごと演習課題を実施する。			デザインアプリケーションⅠ				
※実務経験のある教員が担当する科目である。			ポートフォリオ制作ⅠⅡ				

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
産学連携プロジェクトⅡ			講義・演習		インテリア・空間デザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	通年	必修	60	2	宮沢 千夏子
授業の目的・目標					
・企業（大場建設株式会社・三島市）とのコラボレーションにより就職後に役立つ実践的な授業を行う。 ・時代背景や社会の問題、現在の求められているニーズを把握することから、ターゲットを知り、デザインの力で問題解決できる可能性や手段を考える。					
授業の概要					
静岡県駿東郡清水町徳倉に建設される「ペット共生型賃貸物件」を対象とし、賃貸住宅の市場を知り、立地条件・ターゲットを踏まえた暮らし方を考える。賃貸物件のコンセプトメイクを行い、コンセプトに基づいた、インテリアの仕様提案（内装・外装）、グラフィック提案を行う。最終的にオーナー様や貴社に向け、プレゼンテーションを行う。					
成績評価の方法					
1、提案課題（コンセプトの提出させた制作物の完成度）				課 題	50%
2、平常点（主体的な授業参加度）				平 常 点	30%
3、学習意欲（学習意欲の有無、授業の取り組む姿勢）				学習意欲	20%
使用テキスト・教材					
必要に応じてプリントの配布					
授業内容・授業計画					
1. オリエンテーション、授業の説明・概要①	時間数	2	16. 中間チェック(2)	時間数	2
2. 授業の説明・概要②	2		17. 制作⑤(1)		2
3. メインコンセプト決め	2		18. 制作⑤(2)		2
4. デザインコンセプト決め	2		19. 制作⑥(1)		2
5. 仕様決め（内装・外装）①	2		20. 制作⑥(2)		2
6. 仕様決め（内装・外装）②	2		21. 制作⑦(1)		2
7. 制作①プレゼンシート制作について(1)	2		22. 制作⑦(2)		2
8. 制作①プレゼンシート制作について(2)	2		23. 最終チェック(1)		2
9. 制作②グラフィック関連(1)	2		24. 最終チェック(2)		2
10. 制作②グラフィック関連(2)	2		25. ブラッシュアップ(1)		2
11. 制作③仕様書について(1)	2		26. ブラッシュアップ(2)		2
12. 制作③仕様書について(2)	2		27. プレゼンテーション準備、リハーサル		2
13. 制作④まとめ(1)	2		28. プレゼンテーション準備、リハーサル		2
14. 制作④まとめ(2)	2		29. 最終プレゼンテーション		2
15. 中間チェック(1)	2		30. 最終プレゼンテーション		2
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					

シラバス(授業概要)				年 度	2025年度
				科目コード	
授 業 科 目 名			授業形態		学科・コース
キャリアプランⅡ			講義・演習		インテリア・空間デザイン科
履修学年	履修学期	必修・選択	時間数	単位数	担当教員
2	後期	必修	30	1	太田 稔子
授業の目的・目標					
①ビジネスマナー検定対策 ②社会人意識向上 ③就職に必要な書類作成作成のノウハウ					
授業の概要					
授業内だけでのビジネスマナー検定取得を目指し、効率の良い学習方法を取得する。 単なる検定対策ではなく、授業を通してビジネスマナーの基本及び社会人意識を身につける。 今後の就職活動の基本となる、面接対策の基本を学ぶ、					
成績評価の方法					
授業態度・課題提出・出席を総合的に判断する。				平 常 点	60%
				学習意欲	40%
使用テキスト・教材					
独自に作成したワークシート及び就職に対するマナー等資料					
授業内容・授業計画					
					時間数
1.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
2.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
3.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
4.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
5.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
6.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
7.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
8.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
9.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
10.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
11.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
12.	ビジネスマナー検定対策	過去問題解説等			2
13.	キャリアとは 企業の採用基準	就活の流れと情報収集			2
14.	面接対応基本	面接ロープレ			2
15.	プレゼンテーション（自己PR）				2
その他			関連科目		
※单元ごと演習課題を実施する。					
※実務経験のある教員が担当する科目である。					